

生活支援コーディネーターだより

きずな

生活支援コーディネーターは生活上の「困った」や「社会貢献したい」方の相談に応じています。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、お手伝いをする仕事です。

お問い合わせは、
高槻市社会福祉協議会まで

TEL : 072-676-9052
FAX : 072-661-9113

令和6年
3月発行

挑戦してみることで気付くやりがいや楽しさ

生活の中でボランティアや自治会の活動、趣味の時間や特技を生かした地域活動等、新たに「挑戦してみたい」と思う反面、「自分にも出来るのだろうか」と感じる方もいるのではないのでしょうか。今回のきずなでは地域で実際に活動している方にインタビューしてきました。既に活動をされている方、これから何か始めてみようと思う方にとって参考になるのではないのでしょうか。



今回インタビューしたのは
「紙芝居めだか座」・「のんびりオカリナの会」代表の
千布徳子（ちふ のりこ）さんです！

千布さんは「紙芝居めだか座」、「のんびりオカリナの会」の2つのグループを立ち上げ、市内の高齢者施設やデイサービスなどを訪問し、無償で公演を行っています。自宅の駐車場を改装され、定期公演や練習も行っています。最近は公演依頼も増え、大人気となっています！

活動メンバー、公演依頼 募集中！見学も可能です



紙芝居めだか座
(6名で活動中)



のんびりオカリナの会
(9名で活動中)



熱心に活動されている千布氏さんに活動への思いを聞くことができましたので、裏面でご紹介します。

裏面

千布さんにインタビューを行いました



Q 活動を始めたきっかけは何ですか？

人と関わることが好きで、皆と楽しめる活動がしたいと思ったのが始まりです。元々バンド活動をしており、高齢者施設への訪問などは行っていました。2つの活動を始めたのは家の駐車場をリフォームしたことがきっかけとなりました。リフォームにより練習や定期公演などを気軽に行えるようになり、興味がある知り合いを集め、活動が始められました。

Q 活動を始めてみてどうですか？

生活にメリハリができました。何度か訪れる施設は、毎回楽しみに待ってくださるので、やりがいになっています。披露する場があるのは有難いです。



懐かしの曲をオカリナで演奏



Q 活動を行う上で気を付けていることはありますか？

公演に穴をあけるわけにはいかないので健康面には気をつけています。活動の中では「のんびり、ゆったり、楽しんでやる」ということを意識しています。また、公演の衣装は手作りで、観客・メンバーの気持ちを高めることを意識して作っています。



Q 活動を行う上で苦労したり困っていることはありますか？

活動の楽しさが上回ってあまり思いつきませんが、車がないため公演時の道具や資材の運搬に苦労しています。現在は自転車で移動しており、活動範囲が限られてしまうのが残念です。



Q 今後の目標があれば教えてください。

無理をせず、メンバーや観客と一緒に楽しんでいくことを忘れずに活動を続けていきたいです。観客と一体となって楽しみたいため、演出なども工夫していきたいです。今後は子どもなど幅広い年代に披露できれば良いと考えています。

インタビューを行って…

「一緒に楽しみたい」という活動への思いがメンバーや観客を惹きつけ、千布さんの周りには人が集まるのではないかと感じました。「公演でむしろ元気をもらっている」とお話す千布さんの笑顔がとても輝いているのが印象的でした。千布さんのお話・活動から、まずは挑戦してみることに、活動を無理せず楽しむことが大切と学びました。

「何かを始めてみたいけど、不安がある」という方も多いと思います。生活支援コーディネーターは「何かやってみよう」という方のお手伝いをしており、活動の紹介、見学の調整等も行っていますので、お気軽に生活支援コーディネーター（072-676-9052）までご相談ください。

